

## 政策Ⅵ

# 豊かで快適なくらしを支える 都市基盤が整備されたまち

### この分野の主な課題

#### 主要施策 36 安全・快適で機能的な道路整備や河川改修等の推進

- 通学路の安全対策、公園の施設・遊具の更新を着実に進めるほか、まちの活性化につながる道路整備を効率的に進めるとともに、高規格道路ネットワークの整備に向けた調査・研究など、計画的な道路整備を推進する必要があります。
- 国及び県の河川改修事業に対して市と地域住民が一体となって協力するとともに、施設管理や大雨の際の河川の水位監視・情報共有・対応連携の維持・強化に向けた要望を行う必要があります。また、河川の堆積土砂の撤去（国・県管理河川については撤去要望）を継続する必要があります。

#### 主要施策 37 持続可能な都市基盤整備の推進

- 関係機関と連携してまちの拠点機能の充実・活性化を図るための土地利用を検討する必要があります。また、地域特性に応じた土地利用が実現できるよう市街地の状況や都市機能の整備状況を踏まえ、区域区分の見直しや地区計画制度の活用、特別指定区域制度の推進などについて検討する必要があります。

#### 主要施策 38 安全・安心で良好な住環境の形成

- 不動産業者と連携した空家の利活用や、補助金制度の活用による危険空家の除却を促進する必要があります。また、住宅取得を支援することにより働く世代や新婚世帯を定住・移住につなげていく必要があります。



施策1 都市基盤の整備充実

主要施策 36

## 安全・快適で機能的な道路整備や河川改修等の推進

／ 将来あるべき姿 ／

市内外をつなぐ道路ネットワークが構築され、効率的に移動できることで、広域的な交流や地域産業が活性化しています。また、市民一人ひとりが、道路・公園などの施設や河川の美化活動や維持管理に意識を向け、安全・安心で快適な環境が保たれています。

### 協働の取組

#### 市の取組

##### ①道路や河川などの安全確保・景観保全〔総合戦略〕

道路・橋りょう・公園・河川の計画的かつ効率的な修繕・補修や、破損箇所・不具合箇所を通報しやすい環境整備、通学路の安全確保に取り組みます。また、地域・団体などとの協働による美化活動に取り組むため、アドプトプログラムへの参加を促進します。

##### ②機能的な道路ネットワークの整備〔総合戦略〕

広域的な観点を踏まえた、まちの拠点や観光地、各地域を結ぶ機能的で安全な道路ネットワークの構築に取り組むとともに、地区が行う生活道路の整備を支援します。また、神戸方面に伸びる高規格道路ネットワークの整備に向けた調査・研究に取り組みます。

##### ③公園の充実と緑地の保全〔総合戦略〕

親子連れを中心に幅広い世代の人が集えるよう、市民のニーズに対応した安全で利用しやすい公園施設・遊具の充実と緑地の保全に取り組むとともに、計画的かつ効率的な維持管理に努めます。

##### ④河川改修の促進と適切な維持管理〔総合戦略〕

洪水被害を軽減するため、国土交通省が行う加古川河川改修事業の一層の進捗が図れるよう、国や関係者と一体となって取り組むとともに、市民や地域にも理解を促します。また、河川の流下能力を向上させるため、堆積土砂を計画的に撤去するとともに、出水期には広域的かつ合理的な河川への排水コントロールに、地区（自治会）とともに取り組みます。

#### 市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民や地域、事業者などは、積極的に道路や公園などの美化活動を行います。
- 市民は、公園利用のマナーを守るとともに、道路や公園などの破損箇所や不具合箇所を発見した際には、市に連絡します。
- 市民や地域、事業者は、道路整備事業や河川改修について理解し、事業の推進に協力します。

### まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 道路の整備に対する満足度	71.1%	75.7%	78.0%
② 市民アンケートにおいて、道路の整備状況を満足と感じる市民の割合	(H29)	(R4)	
③ 公園の整備に対する満足度	72.1%	75.7%	80.0%
市民アンケートにおいて、公園の整備に満足と感じる市民の割合	(H29)	(R4)	
③ 複合遊具の新設数	—	—	1基
公園への複合遊具の新設状況			(R8)
④ 防災対策に対する満足度	75.6%	81.2%	84.0%
市民アンケートにおいて、水害などの防災対策を満足と感じる市民の割合	(H29)	(R4)	



施策1 都市基盤の整備充実

主要施策37 持続可能な都市基盤整備の推進

＼将来あるべき姿／

都市基盤を活かしたまちの拠点機能の充実や良好な市街地の形成、地域特性に応じた土地利用の推進により、多様な人が暮らし続ける「まち」が形成されています。また、地籍調査が促進されることにより、その成果が土地に関する施策や調査に活用されています。

協働の取組

市の取組

①新たな市街地の形成（総合戦略）

市街化区域における既存ストックを活用した民間による開発を促進し、良好な市街地の形成に取り組みます。また、市街化区域への編入や土地区画整理事業などによる新たなストックの創出に向けて、関係機関と連携・協議します。

②地域集落の活力維持（総合戦略）

住居や店舗、事業所を構えることができるよう特別指定区域制度を活用するなど、市街化調整区域などでの土地利用を推進し、集落の活力維持に努めます。

③地籍調査の実施と活用

市民や事業者の理解や協力のもと、土地利用などに関する施策に活用されるよう地籍調査を計画的に実施します。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民や地域は、新たな土地利用の推進について理解します。また、地籍調査事業を理解し、現地立会などに協力します。
- 事業者は、土地利用の規制状況を考慮し、地域住民の理解を得ながら、周辺環境に配慮した開発・建築を行います。



まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 市街化区域内の新築件数 市街化区域内で新築された建築物の数	122 件	127 件	137 件
② 特別指定区域制度を活用した住宅の新築件数 特別指定区域制度を活用して新築された住宅などの数	9 件	10 件	15 件
③ 地籍調査実施率 未実施地区における地籍調査の実施状況	13.8%	20.7%	21.6%



施策1 都市基盤の整備充実

主要施策 38 安全・安心で良好な住環境の形成

＼ 将来あるべき姿 /

災害に強く、人や環境にやさしい住まいづくりの推進をはじめ、良好な住環境の形成により、安全・安心・快適な住まい・住環境が実現しています。

協働の取組

市の取組

① 災害に強い住環境の整備〔総合戦略〕

旧耐震基準住宅の耐震診断や耐震改修の支援制度を充実させるとともに、意識啓発による空家の発生抑制や管理不全の空家の除却支援に加え、空家等活用促進特別区域の指定を検討するなど、災害に強く安全にくらせる住まい・住環境づくりに取り組みます。

② だれもが安心してくらせる住環境の整備

市営住宅を計画的に維持管理し、バリアフリー改修などの居住性の向上に取り組むとともに、外国人住民向けのシェアハウスなど、目的外での使用を検討します。加えて、セーフティネット住宅制度の普及啓発に取り組み、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進します。

③ 魅力ある住環境の構築〔総合戦略〕

定住・移住を考えている働く世代・新婚世帯の住宅取得の支援を強化します。また、不動産関係団体と連携して空家バンクへの登録物件を充実させます。加えて、テレワーク拠点やサテライトオフィスなど、新しい働き方のスタイルとしての空家の有効活用に取り組みます。

市民・地域・事業者等に期待すること

- 市民は、耐震診断・耐震改修を積極的に行うとともに、バリアフリー化に取り組めます。
- 市民や地域は、空家の発生抑制や管理不全の空家の解消、利活用などに取り組めます。
- 事業者は、省エネ、創エネ、蓄エネに配慮した住宅の導入を進めます。また、各種支援制度の周知に協力します。
- 不動産関係団体などは、市との連携のもとで、住宅セーフティネット機能の強化や空家バンクを通じた空家の利活用を推進します。

まちづくり指標

指標名	実績値		目標値
	2016(H28)	2021(R3)	2027(R9)
① 耐震診断や耐震補強済みの住まいの割合 市民アンケートにおいて、耐震診断や耐震補強を行っている住まいの割合	29.4% (H29)	35.0% (R4)	40.0%
② セーフティネット住宅の登録戸数 住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の戸数	—	369戸	567戸
③ 空家の適切な管理と利活用の推進に関する満足度 市民アンケートにおいて、空家の適切な管理と利活用の推進に関する取組を満足と感じる市民の割合	—	58.1% (R4)	64.1%